

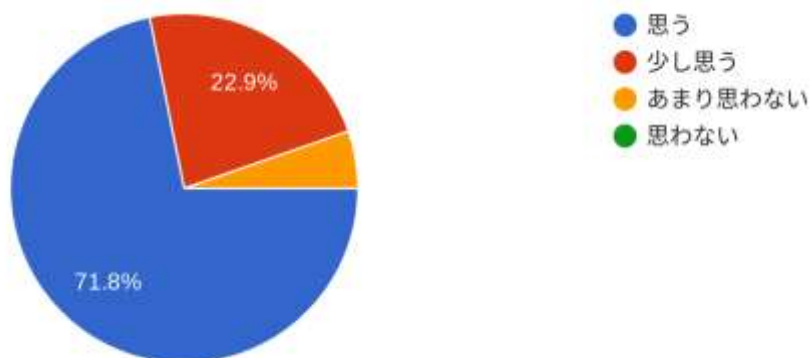
令和3年度・南本宿小学校・保護者アンケート結果の概要

○回答数 188名 (家庭数 312)

○回答率 60.2%

1 お子さんは、学校生活を楽しんでいると思いますか。

188件の回答

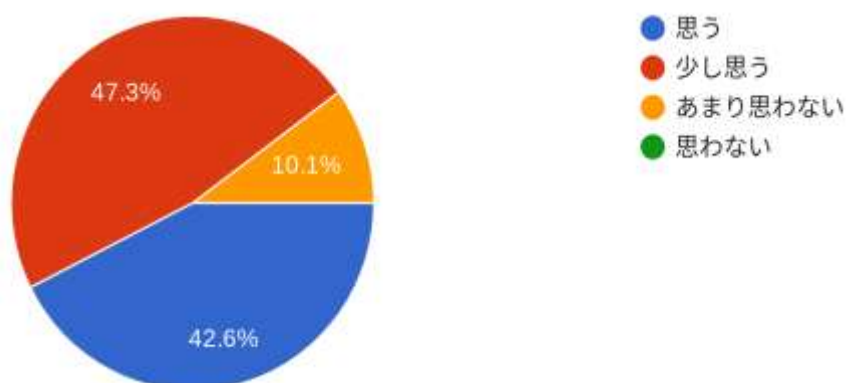


○保護者からの意見

- ・休み時間など先生も含めて遊んでいると聞いて、みんなと仲良くできるきっかけにもなるので、とても嬉しく思いました。
- ・毎日楽しく学校に通い、公園に遊びに行き、充実した学校生活を送っていると思う。

2 お子さんは、場に応じた「あいさつ」ができていますか。

188件の回答

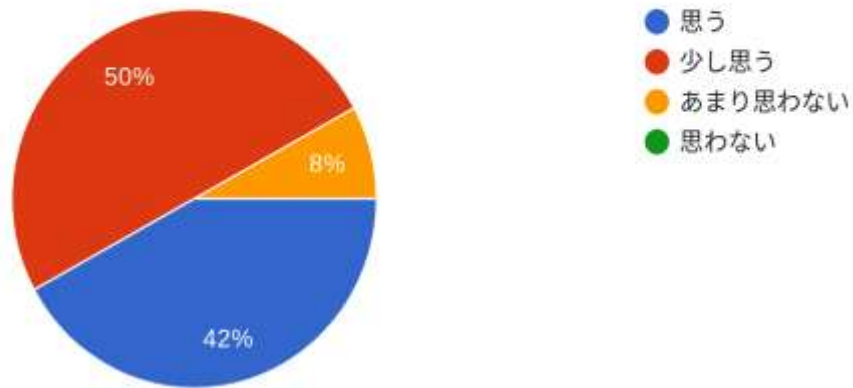


◇学校コメント

あいさつについては、登校指導に加え、子どもたち自身による「あいさつ運動」の取り組みなどを進めています。まだまだ不十分な面もあると思います。しかし学校のスタンスとしては、叱責的な指導より、遠回りでも教職員や地域の皆さんが、自ら子どもたちに範を垂れることによる感化的な教育を目指していく考えです。小学校中学校では挨拶ができて、成長につれてそれができなくなっていくという例を多く目にしますが、それは「させられている」挨拶だからではないかと思うからです。ぜひ、保護者や地域の皆さまにも、あいさつのある街づくりに取り組んでいただければ幸いです。

3 お子さんは、相手の気持ちを考えた言動がとれていると思いますか。

188 件の回答

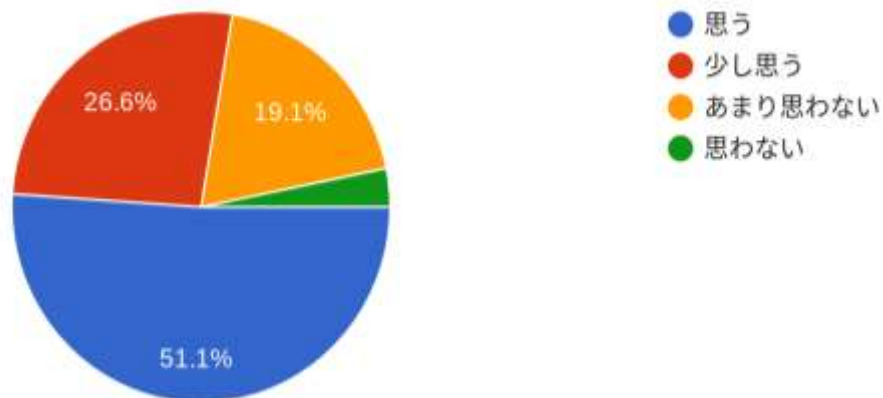


◇学校コメント

「相手の気持ちを考えた言動」は、実は大人にとっても簡単なことではありません。小学生の今、それができる、できないというのをもさることながら「自分がそうされたらうれしく感じることを相手にもしてあげたいと、まずそう思えるような子どもたちを育てていくことを目指していきます。

4 お子さんは、外で体を動かしたり、運動に親しんだりしていますか。

188 件の回答



○保護者からの意見

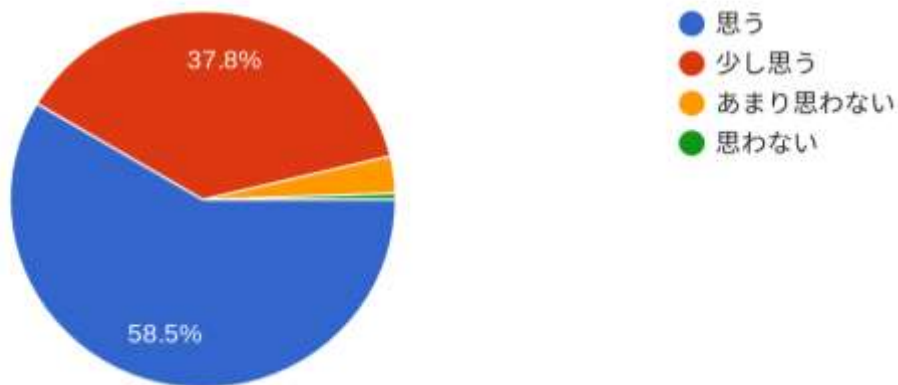
- ・コロナ禍でタブレットばかり使うようになり、体を動かす機会を無くしている。
- ・雨の日以外の休み時間は、iPad を使用禁止にしても良いのではないかと思います。

◇学校コメント

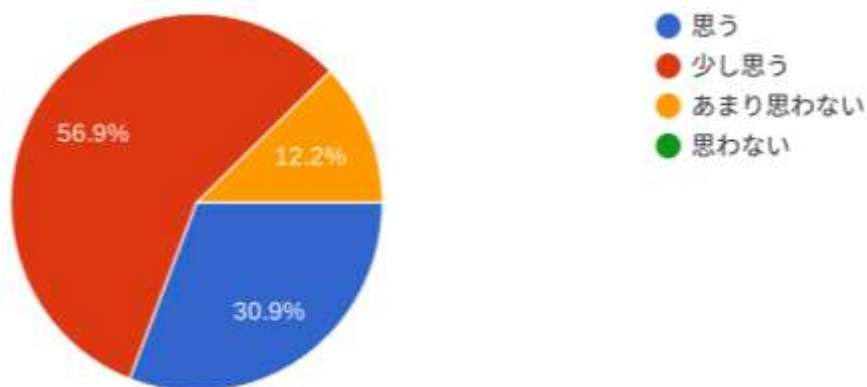
GIGA 開き直後こそ、子どもたちは目新しさから、休み時間にもタブレットにくぎ付けという時期がありました。今はそれも落ち着き、休み時間には大半の子どもが運動場などで思い切り遊んでいます。本校では、外形的な禁止指導ではなく、子ども自身が判断し、行動できるよう、失敗をまじえた経験から学んでいけるような指導に努めます。

5 お子さんには、学校のきまりを守る態度が身に付いていると思いますか。

188 件の回答



6 お子さんは、新しい学校生活の中で、協力したり意見の交流をしたりしながら、自分のよさを発揮することができていると思いますか。

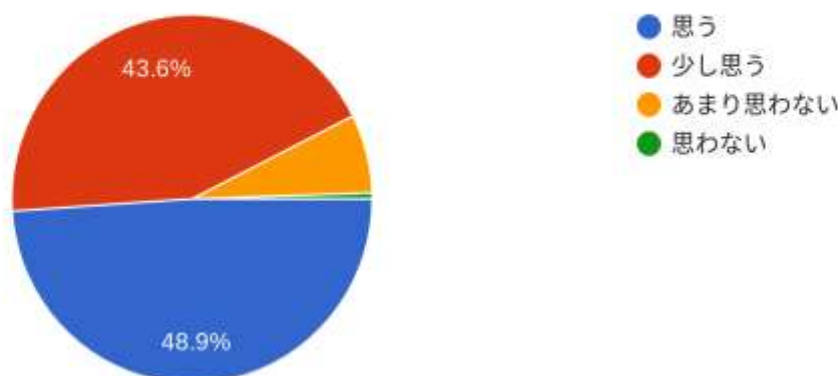


◇学校コメント

GIGA スクールへの取り組み以降、これまではなかなか授業の中で発言の機会がなかった児童も、一人ひとりが自分の意見や考えを表明することができるようになってきました。今後は表明された意見を、子どもたち同士でしっかりと戦わせながら考えを深めていくことや、そうした活動の様子を、保護者の皆さんにも分かりやすくお伝えしていけるようにしていきます。

7 本校は、一人ひとりを大切にしたい温かい雰囲気为学校づくりに努めていると思いませんか。

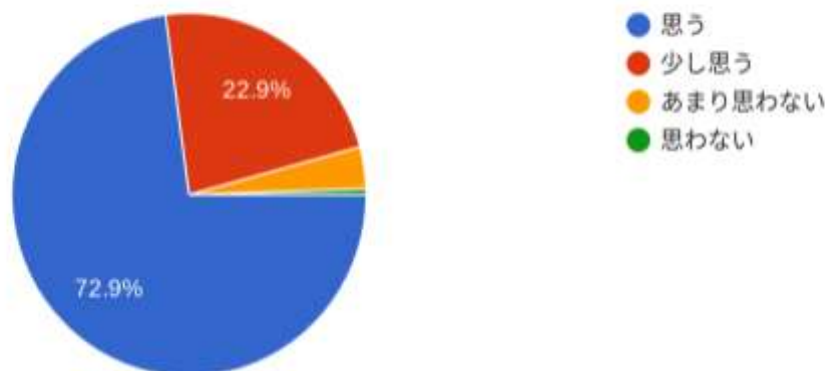
188 件の回答



○保護者からの意見

- 先生の厳しい指導の中にも、こどもが安心して通える学校であってほしい。
- 1人1人の細かな部分まで見てくれ、児童本人に返してくれ、また保護者にもその時々に必要な助言などくれて、本当に感謝しています。

8 本校は、新型コロナウイルスへの対策等で、安全・安心な学校づくりに取り組んでいると思いませんか。



○保護者からの意見

- 修学旅行など、感染者数が減少している状況だったので、行っても良かったのではと思いました。
- 新型コロナウイルスへの対策をよく考えてくださっていて有難いです。
- 感染対策では共用部分の消毒や手洗いなど行なっているようですが、さらに給食前には、消毒液を使用してから配膳するなどもう少し対策を強化して欲しい。子どもの手洗いには不十分さがあるので。
- 昇降口での消毒設置。教室での消毒設置。換気出来ていない様なので徹底した方が良い。もう少しコロナ対策の意識を学校での日常生活に取り入れて下さい。
- 制限が多い中、色々と検討していただき、子どもたちの活動が行われていた。
- 運動会を縮小しすぎたり、修学旅行を日帰り遠足にしたのは残念でした。

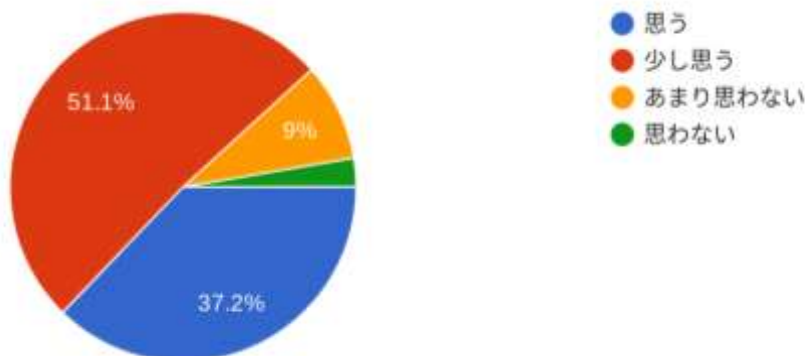
◇学校コメント

感染防止対策については、すでに2年もの間、学校も子どもたちやご家庭の皆さんと一緒に努力を重

ねてきました。その中でも、学校行事への対応については、さまざまなお意見をいただいています。旅行会社や宿泊先との契約上などから、必ずしも即応性ある対応が難しい場合もあることがご不満に繋がっている面もあると思います。今後も一定期間、感染症の影響が続くという前提のもと、少しでも即応性を高めた対応ができるよう、引き続き見直しを進めてまいります。

9 本校は、いじめの防止や早期発見・解決に向け、真摯に取り組んでいると思いますか。

188 件の回答



○保護者からの意見

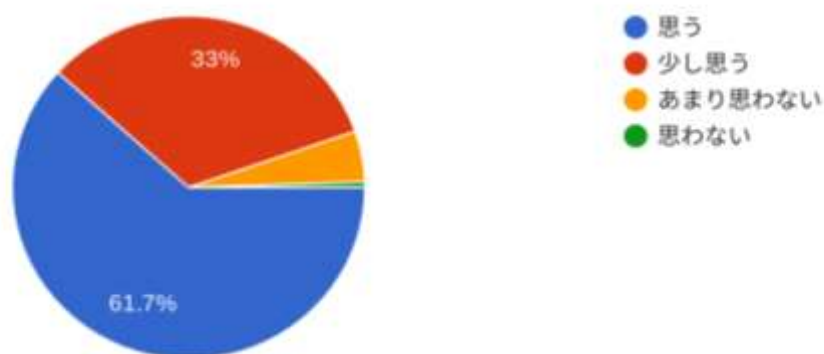
- ・すぐ対応してもらって助かってますが、いじめは無くならないですね。
- ・担任の先生が真摯に対応してくれた。

◇学校コメント

いじめへの対応は、今日、どの学校にとっても避けられない大きな課題です。「いじめをゼロにすることが目的化すると、発生したいじめの認知が遅れたり、却ってその対応が歪んだものになる場合もあることから、本校では、子どもたちの心を育み、いじめが起きにくい学校風土を目指す一方で、いじめの数的な減少を目的にするのではなく、たくさんの目でいじめを早期に発見し、発生したいじめに、いかに速やかに、適切な対応を取れるかに力点を置いて対応を進めています。

10 本校は、保護者や地域と連携しながら、学校づくりを進めていると思いますか。

188 件の回答



○保護者からの意見

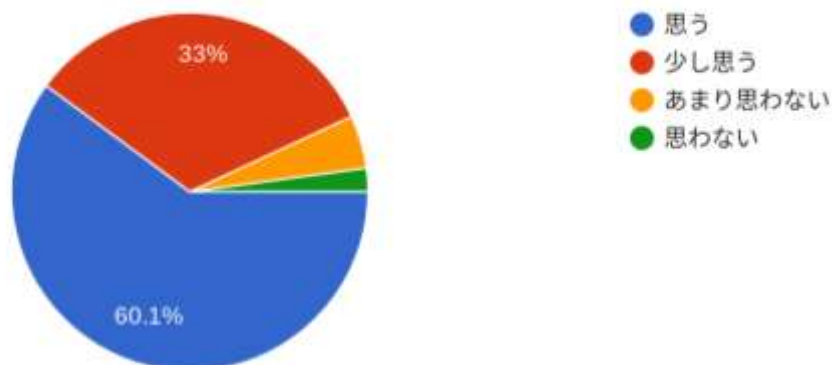
- 学校と校外の連携があまり取れていないように感じます。
- 10月に緊急事態宣言が明けてすぐの稲刈り作業は、たくさんの方が参加して、とても密だった。それなのに修学旅行の中止の判断をしたことは大変残念。神奈川県内に宿泊で良かったのと思う。コロナ禍で活動できる1番よい時期を逃していた。現状では連携しながらの学校づくりには、ほど遠い。
- 校外委員の責任が重すぎる。
- 保護者の意見があまり反映されない。

◇学校コメント

学校にはどうしても「ねばならない」という考えや「前例主義」が根強く残っている部分があります。「学校の常識は世間の非常識」と言われることがある一方で、本校の常識が必ずしも学校の常識ではないという部分もあるのが現実です。登校班やPTA 校外委員の皆さんの活動も、学校の立地や歴史によって、大きく取り組みの違っている例の一つだと思います。水田活動への保護者参加については、今年度、従来の当番的な位置づけから「やれる人が、やれることを、やれる範囲で」という考え方のもと、募集方法の変更に一歩を踏み出しました。まだまだ不十分な点は多々あると思いますが、引き続き皆さんからお寄せいただくご意見に学ばせていただきながら、よりよいあり方を探っていきたいと思います。

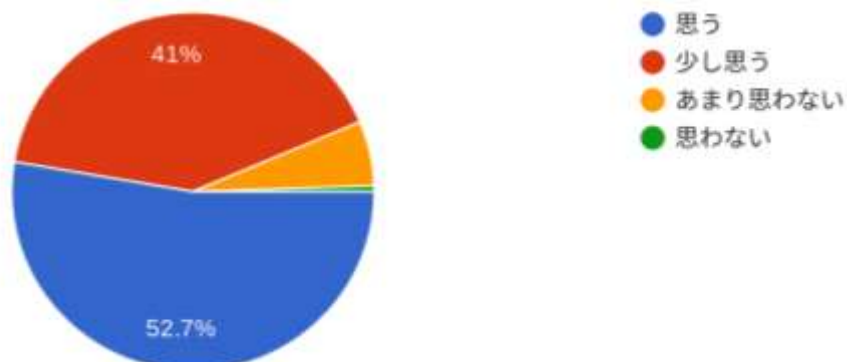
1.1 本校は、学校の取組をわかりやすく伝えていると思いますか。

188件の回答



1.2 本校ではSDG sを意識した教育活動を行っていると思いますか。

188件の回答



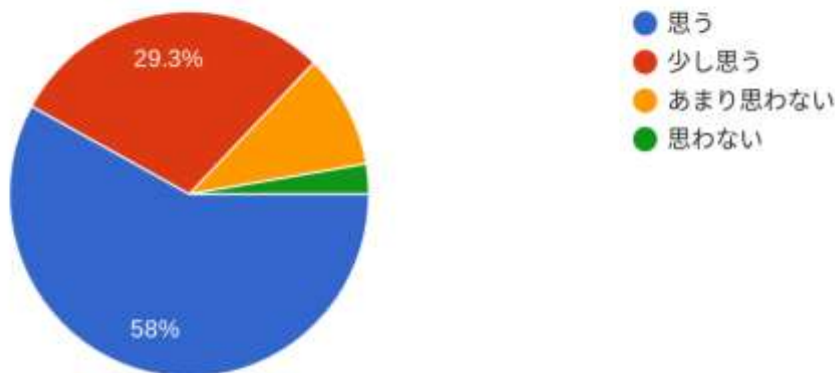
○保護者からの意見

- 水田活動は児童、保護者、学校共に負担でしかない。授業時間確保と内容の見直しをしてほしいので廃止にさせていただきたい。PTAの強制活動を見直してほしい。
- 教育水田を意識し過ぎて、他の教育に影響を与えていると思う。雨天の予定も作る必要がある。
- SDGsの具体的な取り組みが保護者には見えていない。

◇学校コメント

教育水田の取り組みについては、賛否様々なご意見があります。地域に長くお住まいのご家庭の多くがこの活動に愛着を感じてくださっている一方、長きにわたる活動の間、保護者の皆さんの就労形態など、社会情勢が大きく変化していることから、活動のあり方についても、時代に応じた変化が必要なことは間違いないと思います。学校としては、引き続き、活動による教育効果を最大化するよう努力しつつ、持続可能な活動とするための見直しを随時進めてまいります。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

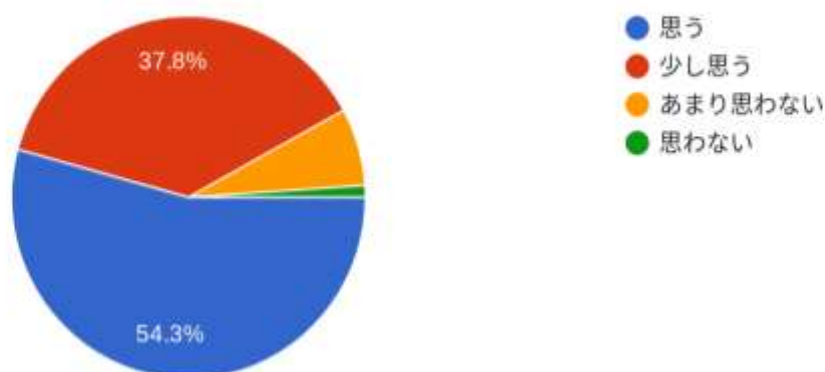
- 13 本校の特色である教育水田活動は、「豊かな心」や「持続可能な社会の創造に貢献する力」を育んでいると思いますか。



○保護者からの意見

- それぞれの水田作業は何故この時期に必要なのかなどの学びがもっと必要。やるならば一年を通して全てを子ども達がやり失敗したり成功したりして食べ物を作る大変さを学ばなければと思う。教育水田を縮小し、別の持続性のある活動をする時期なのではないか。
- フェスティバルも保護者の参加がないなら、土曜ではなく平日にやったほうがいい。
- 水田活動は地域の方々との交流を持ちながら、貴重な体験が出来て良いと思います。食育にも繋がりが、更に学べる機会も増えるのが良いです。

14 本校は、教育活動を通して、未来に生きる子どもたちに大切な「情報活用能力」を育てていると思いますか。



○保護者からの意見

- ・ICT 利用を行っているようですが、いろいろなチャンネルで発信しているので、整理して欲しい。
- ・iPad の使用をもっと規制してほしい。
- ・iPad は常に携帯させる必要はないと思う。必要な時だけ使えるように。
- ・先生方が工夫しながら、情報を適切に子どもたちに伝えてくれていると思う。
- ・分散登校時などの iPad 活用はもう少し何かできたのではないかと思います。
- ・タブレットに頼った学習ばかりで、本来、身につけるべき書く力や調べる力がついていない。
- ・子供が朝、軽くしゃみ・鼻水等があると念のため、休みを選択する場合があります。夏休みの時のように家の PC やスマホで課題が確認出来ると良いと思います。
- ・ロイロノートでの宿題や取り組みがこれから教育方針になっていくのでしょうか？ノートや鉛筆を使っている宿題がコロナを機になくなりつつあるのが心配です。
- ・他校に先駆けて iPad を導入して授業を行っており、IT 環境が進んでいると思う。
- ・iPad での学習に積極的に取り組んでいて、端末を上手に活用していく力が少しずつ身につけていると思う。

◇学校コメント

GIGA スクールへの取り組みは、未だ緒に就いたばかりで、現在は試行錯誤の時期にあります。しかし実社会において、端末を使って情報を取得し、それを吟味し、思考して成果を生み出していくという営みは、もはや特別な職種や領域のものではなく、その範囲は今後も広がる一方です。ノートや鉛筆を情報端末に置き換えること自体が目的ではなく、それらを現実の目的に即して、自分で使い分けられるようになっていくことが大切です。また実社会の後を追うように、大学入試共通テストに教科「情報」が加わる一方、各種の試験が CBT（コンピューターを使って出題・解答を行う試験）化されていく中、読み書きと同じレベルで、タイピングによって自らの思考を表現できる能力は欠かせないものになっています。最初から高度な活用ができるわけではありません。しかし以前に、それこそ紙と鉛筆のように、当たり前のもので情報端末を使いこなすことのできる力が必要になっています。本校では引き続き、子どもたちの将来に生きる「情報活用能力」の育成に取り組んで参ります。

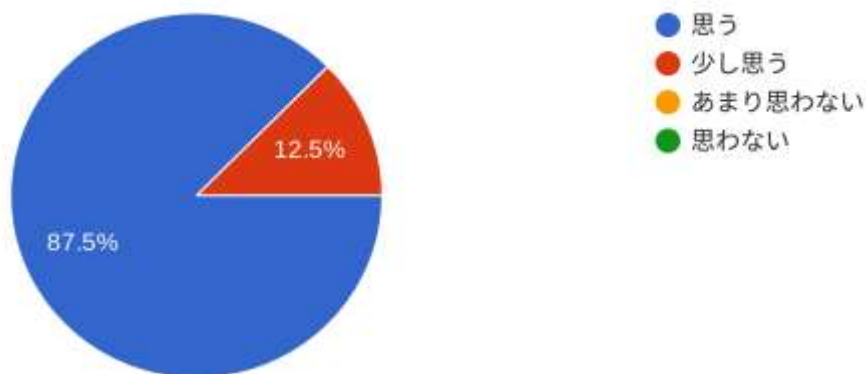
○保護者からの意見<その他>

- ・アンケートは無記名にしてほしい。アンケートの設問自体が漠然としていて答えづらい。
- ・近隣の他校と比較すると、イベントも少なく、勉強のレベルも低いのではないかと思います。

◎学校運営協議会アンケート結果の概要

1 本校の子どもたちには、学校生活を楽しんでいる様子が見られますか。

8件の回答

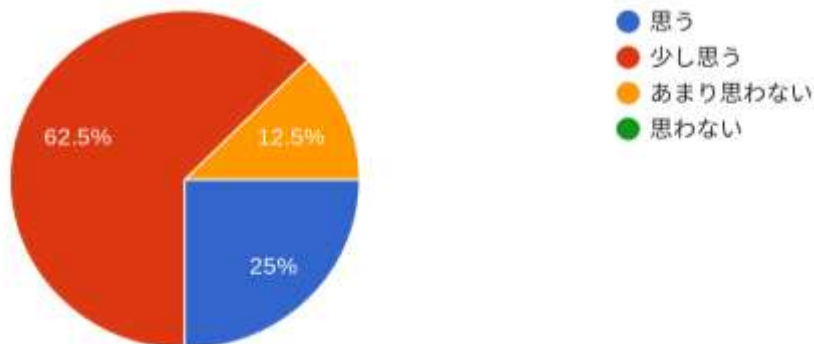


◎運営協議会委員からの意見

①⑦⑭個別支援学級がタブレット効果により、本当に生き生きとしていると感じられる。

2 本校の子どもたちは、場に応じた「あいさつ」ができていますか。

8件の回答



◎運営協議会委員からの意見

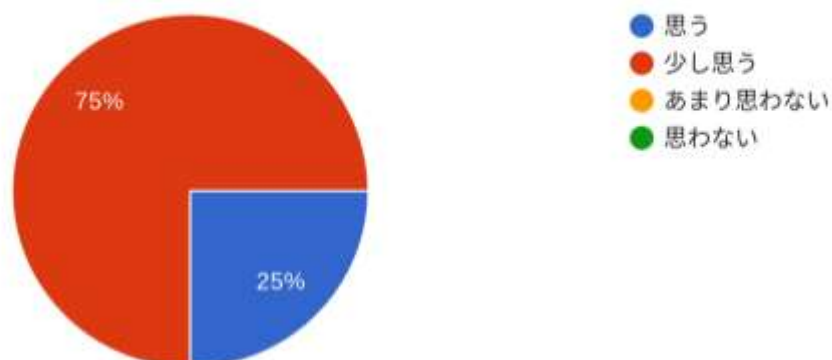
②低学年の挨拶ができるようになってきた。挨拶以外に声掛けをしています。（今日は荷物が多いね。帰りに雨が降らないといいね。）

②南本宿小学校の皆さんは、道ですれ違っても、元気に気持ちよくあいさつをしてくれます。とても気持ちよく感じています。保育園でも見習っていきたいと思います。

②みんながマスクを使うようになってから、一段と挨拶ができてないと感じています。朝も帰りも声を出さなくなってしまう感があります。友だちとはおしゃべりをしていますから、声が出ていない訳じゃなく、私の顔をじっと見て、ピッと横を向く子がいます。そんなに恐ろしい顔してるのかなあと考えてしまいます。

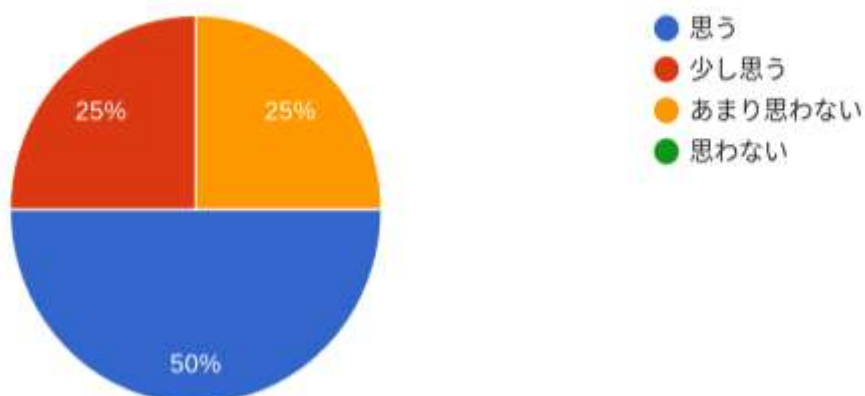
3 本校の子どもたちは、相手の気持ちを考えた言動がとれていると思いますか。

8件の回答



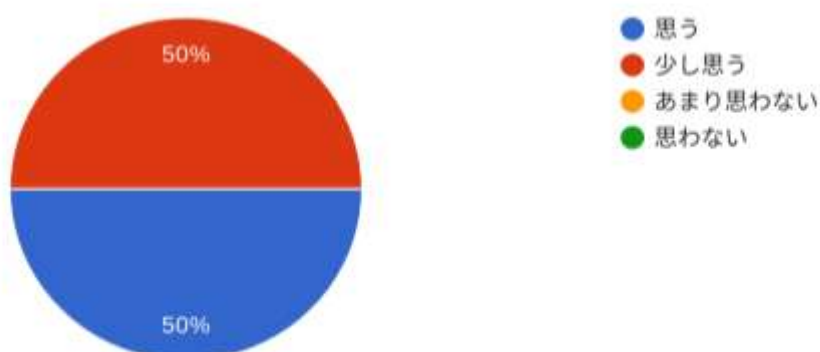
4 本校の子どもたちは、外で体を動かしたり、運動に親しんだりしていますか。

8件の回答

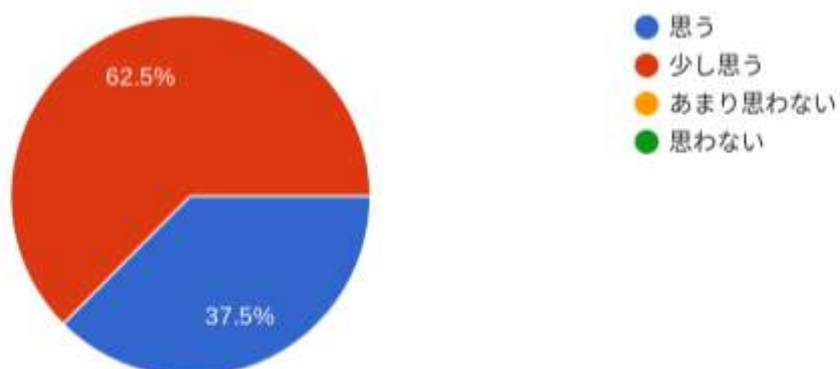


5 本校の子どもたちは、社会のきまりを守る態度が身に付いていると思いますか。

8件の回答

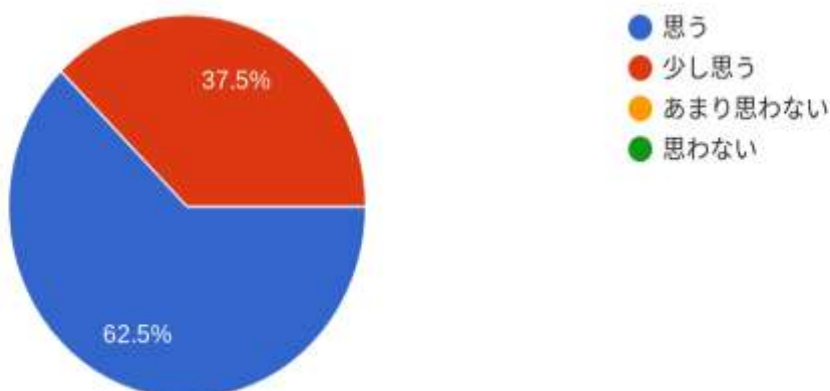


6 本校の子どもたちは、コロナ対策下の学校生活の中で、協力したり意見の交流をしたりしながら、自分のよさを発揮することができていると思いますか。

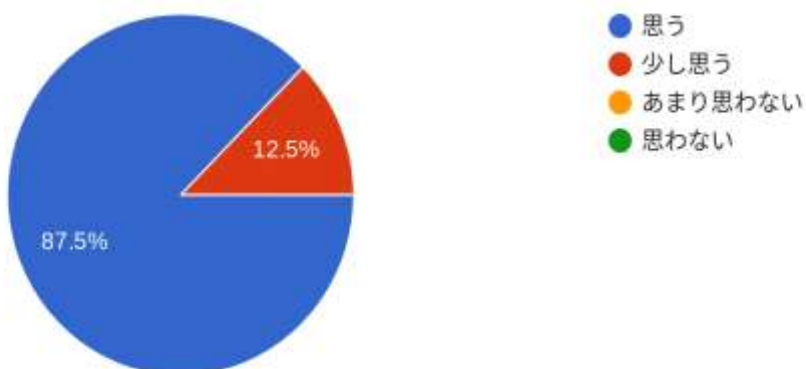


7 本校は、一人ひとりを大切にされた温かい雰囲気为学校づくりに努めていると思いますか。

8件の回答

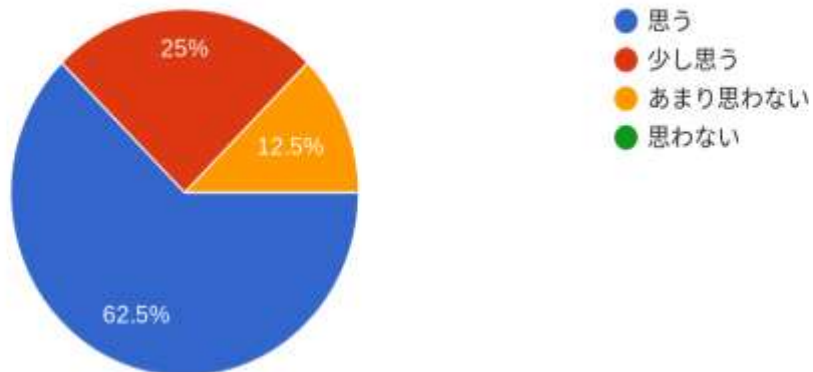


8 本校は、新型コロナウイルスへの対策等で、安全・安心な学校づくりに取り組んでいると思いますか。



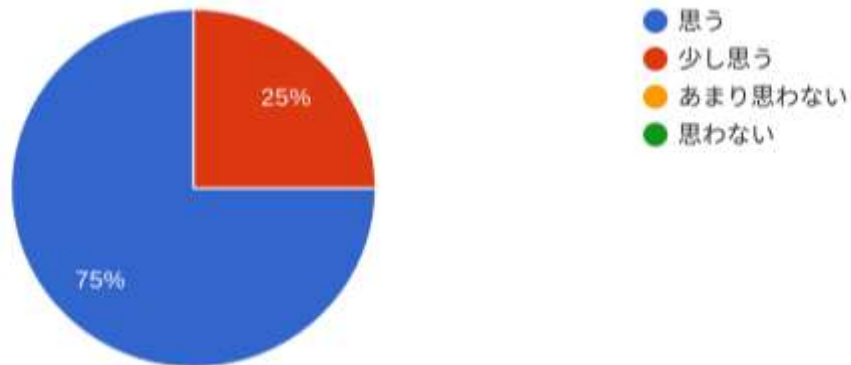
9 本校は、いじめの防止や早期発見・解決に向け、真摯に取り組んでいると思いますか。

8件の回答



10 本校は、保護者や地域と連携しながら、学校づくりを進めていると思いますか。

8件の回答

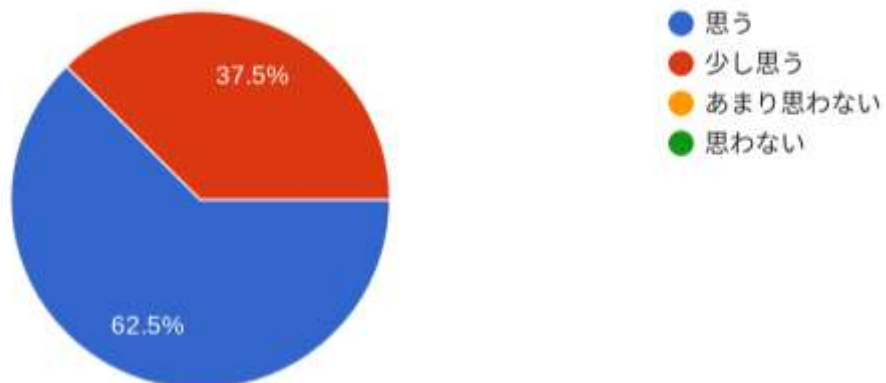


◎運営協議会委員からの意見

⑩コロナ禍のためか、PTA 本部をはじめ、各委員活動が地域には全く見えてこない。もっと情報発信等が必要。

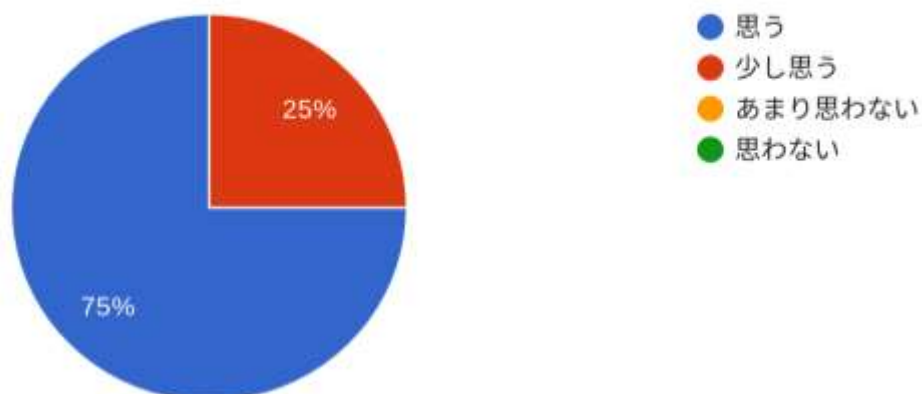
11 本校は、学校の取組をわかりやすく伝えていると思いますか。

8件の回答



1 2 本校ではSDG sを意識した教育活動を行っていると思いますか。

8件の回答

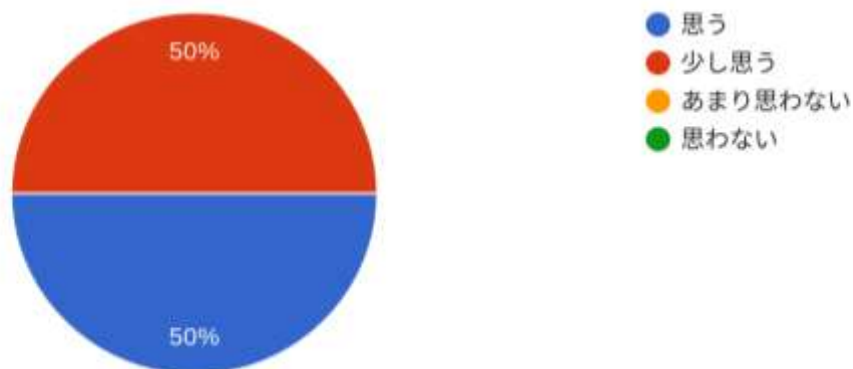


◎運営協議会委員からの意見

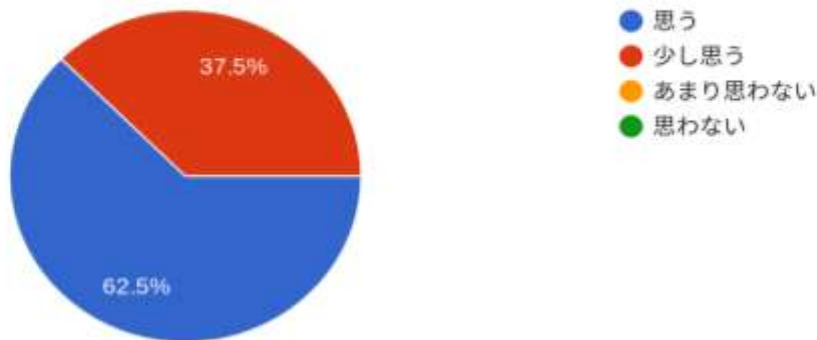
⑫SDG sについては学校全体での取組がわかりやすく感じられる。(その他)教員が運営協議会・協働本部が何かを分かっていると思う。

⑫SDG sの活動の1つとして、赤い羽根共同募金の呼びかけをリモートで行ったことは、今後の児童の学習や、地域との関わりを考える、よい活動だと思いました。ジュニアボランティア6年生の皆さん、ご指導くださった先生方、ありがとうございました。

1 3 本校の特色である教育水田活動は、「豊かな心」や「持続可能な社会の創造に貢献する力」を育てていると思いますか。



14 本校は、教育活動を通して、未来に生きる子どもたちに大切な「情報活用能力」を育てていると思いますか。



◎運営協議会委員からの意見

⑭情報活用能力を伸ばすことに積極的に取り組んでいると感じます。

◎中期学校経営方針に基づく学校評価結果について

重点取組分野	令和 3 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
生きてはたらく知	①SDGsの視点でカリキュラムデザインをとらえ直し、授業づくりに生かすとともに、校内研修等を通して共通理解を図る。②校内授業研究等において探究型の授業に取り組み、子どもたちの主体的な態度や自立的に考える力を育てるとともに、思いや考えを表現する力を養う。	①日々の授業の中でSDGsを意識し、関連付けるようにする共通理解ができた。②児童が主体的に関わり、考え、表現する場面を意識して設定した。タブレットを使うことで、知りたいことを積極的に調べたり、一人ひとりの考えを共有・表現したりしやすくなった。	B
豊かな心	①自分づくりパスポートの活用により、自分の成長を実感し、学びへの意欲に繋げる。さらなるステップアップとして、今年度は自分たちの思いで活動を立ち上げ、実現していく姿を目指す。②教科等にも取り入れ、担任がその目的を意識して取り組むようにしていく。	①委員会活動や特別行事などの中で、子どもたちの思いを生かし、活動を立ち上げてきた。今後も継続し、発展させていきたい。②横浜プログラムの考え方は教科指導の中にも生かされてきているが、職員がさらに研修を深め、プログラムを意図的・計画的に活用していけるよう今後も努めていく。	A
健やかな体	①体力アップでは「縄跳び」に加えて「ペース走」に取り組むとともに、体育の冒頭5分を活用し、さらなる体力向上を目指す。②手洗い等の衛生指導に加え、「いのちの教育」として、自分の体の成長や病気への対応等の学習を進める。	①体力アップでは全校を半分に分けて、感染症対策をした上で「ペース走」を行うことができた。②手洗い等の取り組みについて、子どもたちが自主的に取り組めるようになってきた。「いのちの教育」を機会を捉えて実施してきている。	A

地域連携 学校運営協議会	①学校運営協議会を始めとした地域の力を生かし、より良い学校運営を目指すとともに、活動内容の周知を図ることで、地域のさらなる参画意識を高める。②学校・地域コーディネーターを中心として、学校と地域の連携をより深め、地域の人材のさらなる発掘とリストアップを目指す。	①緊急事態宣言の影響で学校運営委員会も延期を余儀なくされたりしたが、学校としての取組や、行事の実施方法についてご意見をいただくことができた。②昨年度同様、活動に制約が多い中、学援隊の皆様に登下校の見守りを続けていただいている。	B
児童生徒指導	① 年度初めに、まずは職員で、そして子どもたちと、それぞれのきまりの意味を含めて共通理解をする。②来年度も、校内研修、職員会議、打合せなどで、児童理解を深め、より実践的な児童指導力の向上を図る。職員研修や必要な時間と場の設定等を、引き続き行う。	①この時間の設定により、どの職員も同じ考えで指導することを目指した。児童と確認する際もここでの共通理解を基に行った。②限られた時間の中、内容を絞って児童についての情報交換や職員研修を行った。	B
特別支援教育	①引き続き、定期的に研修を行い、障がい理解・基礎的環境整備・合理的配慮について、より現状に即した情報を共有する。②一般学級と個別支援学級や特別支援教室との連携を強化し、児童の実態に応じた多様な学びの場を設定する。	①校内で特別支援教育やインクルーシブ教育についての職員研修を行い、知見を深め、教育活動に生かしてきた。②担任と児童支援専任、SC が連携し、支援を必要としている児童のアセスメントをし、個に応じた支援方法を検討した。特別支援教育の充実のための人員の確保が課題。	B
安全管理	① 地域防災拠点運営委員会や学援隊と協力し、様々な面での安全を確保していくための仕組を整えていく。②感染症対策の再確認及び周知の徹底に加え、災害時を含む教育活動の継続計画を検討・策定していく。	① 地域防災拠点運営委員会や学援隊との連携により学区域内での安全環境の整備が進んできている。②感染状況に応じて教育活動の進め方を検討し、子どもたちが安全に学校生活を送ることができるように努めてきている。	A
いじめへの対応	①互いに相談しやすい等明るい学級風土・学校風土づくりを目指し、一人ひとりの人権意識を高めていく。②子ども面談、懇談会での発信等、児童や保護者に向けたこれまでの取組を継続させ、未然防止に努める。	①職員が素早く児童の情報を共有できるよう、風通しの良い学校風土づくりに努め、職員による児童理解の時間を毎週とった。②年2回の「子ども面談」を行い、未然防止などの観点からも、必要に応じて保護者への情報発信を行った。	B

<p>人材育成・組織運営 (働き方改革)</p>	<p>①メンターチームの仕組みを生かし、職員室内での自発的な情報交換や意見交流を活発にしていけるようにする。②学校評価の進め方を工夫し、職員一人ひとりが組織運営に主体的に関わっていけるようにする。③「働き方改革プラン」に基づいた教職員の取組を進めていく。</p>	<p>①今年度も職員間での情報交換や意見交流等はとても活発に行われていた。 ②学校評価の進め方について、ホワイトボードやクラウド上の文書共有を利用し、見える化して行った。 ③会議内容・研修内容の精選や、終了時間の設定による会議の効率化、時間の有効活用を行い、働き方改革を進めた。</p>	<p>A</p>
<p>ブロック内評価後の気付き</p>	<p>昨年度同様に、ブロック内での職員間、児童間の交流は残念ながら実施できなかった。各校の「年間指導計画」や「各学年の別業」、「あゆみの形式」などを教務主任間で共有し、コロナ禍での教育活動における対応についても情報交換をしてきた。今後、来年度に向けて、今年度の各校での実践についての情報をさらに共有したい。また、児童同士のオンラインでの繋がりを確保し、中止になりがちだった様々な行事の代替となるような、新しい活動を創り出していければと思う。</p>		
<p>学校関係者評価</p>	<p>昨年度は中止となった、教育水田活動についても、保護者の参加方法の見直しを行い、感染症対策をしながら実施をすることができた。学校運営協議会の皆様にも、環境学習についての授業を参観していただき、タブレット端末を活用した教育実践についてお褒めの言葉をいただいた。いただいたご意見を生かしながら、コロナ禍の中で実施日時や内容の変更を余儀なくされても、子どもたちが行事の内容を話し合い、主体的に取り組んだ今年の実践を、来年度以降にも生かしていければと思う。</p>		
<p>中期取組目標振り返り</p>	<p>昨年度同様に、新型コロナウイルス感染症の流行の影響で行事等は頻繁な変更・修正があったが、昨年度までの実践の積み重ねのおかげで、自宅学習をする児童がオンラインで教室の担任や友達と繋がり、ロイロノートの活用によって、普段と同等な学習を保證することができたのは大きな成果だった。集会や代表委員会についてもオンラインの活用が進んできた。来年度からはミドルリーダーの育成を目指した、学校組織や各種会議、メンター研修などの行い方のさらなる改善もしていきたい。</p>		